

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

教科	国語		学年	1学年		
	単元名	時数		単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
学習ガイダンス	1	国語の授業の進め方や注意事項、評価の仕方を確認する。			すすんで国語の授業について理解しようとしている。	
のはらはうたう	8	音声の働きや仕組みについて理解をしながら工夫をして朗読をする。	音声の働きや仕組みについて理解を深めている。 擬人法を理解し、文章から探すことができる。	自らの解釈を生かすための朗読を工夫して発表する。 根拠をもって出した答えをきちんと説明できる。	音声の働きや仕組みにを意識しながら朗読しようとしている。	
文法 言葉の単位	2	文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	単語の類別について理解する。		積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しを持ってその役割を考えようとしている。	
言葉の小窓2 日本語の文字	1	日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	学年別漢字配当表に示されている漢字とその他の常用漢字のうち400文字程度までの漢字を読んでいる。また配当表の漢字のうち900文字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	
ちょっと立ち止まって	5	説明的な文章の読み方についての知識を身につける。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。	「読むこと」において、中心的な部分と付加的な部分、事実と意見の関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝えようとしている。	
文法 文の成分	5	主語・述語・修飾語・接続語・独立語などの文の成分の役割について理解する。	文の成分の順序や照応などの文の構成について理解を深めている。		すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。	

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

漢字の広場 漢字の部首	1	漢字の部首についての理解を深める。	学年別配当漢字表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また配当表の漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
ベンチ	4	本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写をもとに捉えている。「書くこと」において目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
全ては編集されている 写真で「事実」を表現する	4	写真を見る時の観点を知り、写真の特徴を理解する。 写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	比較や分類、関連付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、要約したり場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして内容を解釈している。	情報の扱い方についての理解を深め、奥的に応じて適切な情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。
文法 品詞	1	自立語・付属語、活用の有無、単語の役割を理解し、日本語の品詞の概要を捉える。	日本語の単語の類別について理解している。		すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
文法 名詞	2	名詞の種類や用法について理解する。	名詞や代名詞の用法について理解する		積極的に名詞や代名詞の用法について理解を深め見通しをもって学習に取り組んでいる。

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

大人になれなかった弟たちに	7	文章中の描写に沿って登場人物の関係や心情の変化を捉える力を身に付ける。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	登場人物の相互関係、心情の変化などを積極的にとらえ、学習の見通しをもととしている。
お気に入りの一品を紹介する	5	伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話の中で使うことをとおして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において目的や場面に応じて、日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内用を検討している。	すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。
文法 動詞	5	動詞の活用や種類について理解する。	動詞の活用や種類、その用法について理解している。		積極的に動詞の種類や用法について理解を深め、見通しをもって学習に取り組んでいる。
河童と蛙 オノマトペ	2	場面と描写を結び付けて読む。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの技法を理解して使っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写をもとに捉えている。	すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。
オツベルと象	10	語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えている。	粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

森には魔法使いがいる	4	必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 問とその答えを見つけていく展開をとらえて読む。 筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。	「読むこと」において文章の構成や展開、表現の効果(特に論理の構成)について、根拠を明確にして考えている。 また、文章を読んだ理解したことに基づいて自分の考えを確かなものになっている。 「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出している。	粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。
昔話と古典	1	古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにつれる。	古典には様々な種類の作品があることを知っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	昔話に関する知識を手掛かりに本文を進んで読み、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。
物語の始まり 竹取物語	7	古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、その面白さを理解する。	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写をもとに捉えている。	積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。
故事成語 漢文について	8	いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして由来や意味を理解する。 漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	音読に必要な文語のきまりや 訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとにとらえている。	すすんで音読に必要な訓読の尾仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
文法 形容詞	2	形容詞の活用や用法について理解する。	形容詞の活用や用法について理解している。		積極的に形容詞の活用や用法について理解を深め見通しをもって学習に取り組んでいる。

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

持続可能な未来を創るために	5	持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてている。	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本屋資料をもとに考えを深めようとしている。
百人一首	5	日本の伝統的な文化である百人一首に取り組み、古典に対する親しみをもつ。	歌がるたのルールを理解している。		百人一首の和歌に興味を持ち、すすんで百人一首を覚え、日本の伝統文化である百人一首に取り組んでいる。
文法 形容動詞	2	形容動詞の活用や用法について理解する。	形容動詞の活用や用法に関する知識を身につけている。		積極的に形容動詞の活用や用法について理解を深め見通しをもって学習に取り組んでいる。
少年の日の思い出	10	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 場面の展開や登場人物の心情の変化を描写に基づきながら捉える。 語り手に着目して作品を読み、意見と交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。	事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話しや文章の中で使うこととおして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係(特に語りと構成について)また心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 また、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてている。	粘り強く登場人物の心情の変化などにつて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。
広告の情報を考える	3	広告を見るときの観点を知り、広告の特徴について理解する。 目的に応じて言葉と画像を組み合わせさせて広告を作る。	比較や分類、関連付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。	積極的に関連付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。

# 令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立篠崎第二中学校

蜘蛛の糸	4	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写をもとに捉えている。	すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。
子どもの権利	3	専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。論理の構成や展開に着目して筆者の主張を読む。自分の経験と関連付けて読み、自分の考えをまとめる。	事象や行為を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。	「読むこと」において文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えている。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見の関係などに注意して話の構成を考えている。	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
漫画で物語を表現する	3	漫画の表現の特徴について理解する。漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。	比較や分類、関連付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを関連付けて内容を解釈している。	積極的に関連付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。

教科	国語 書写		学年	1学年		
	単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	楷書で書こう① 筆使い 基本点画	1	小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。	基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。	楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。	基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。
	楷書で書こう② 筆使いと字形	1	小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、書くことができる。	基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。	楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。	基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。
	楷書と仮名を調和させて書こう 筆脈「いろは歌」	4	平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書くことができる。 楷書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	平仮名の筆使いや筆脈配列を理解している。平がなの筆使いや筆脈を理解して書いている。 楷書に調和する仮名の筆使い、字形を理解している。楷書に調和する仮名の書き方を習得して書いている。	紙面全体の調和、筆使いや筆脈、配列を考えている。 楷書に調和する仮名の筆使い、字形について考えている。	平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。 楷書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。

# 令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

<p>楷書と仮名を調和させて書こう 行の中心 『竹取物語』</p>	<p>2</p>	<p>漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。</p>	<p>漢字と仮名の大きさや行の中心を理解している。漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書いている。</p>	<p>漢字と仮名の大きさや行の中心を考えている。</p>	<p>漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとしている。</p>
<p>字形を整えて文を書こう 学習を生かして書く。 様々な形式の基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して様々な形式に合わせて書くことができる。</p>	<p>3</p>	<p>様々な形式の基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して様々な形式に合わせて書くことができる。</p>	<p>さまざまな形式の書き方を理解している。 さまざまな形式の書き方を理解して書いている。</p>	<p>さまざまな形式の書き方を考えている。</p>	<p>さまざまな形式の書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。</p>
<p>書き初めを書く</p>	<p>6</p>	<p>文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる</p>	<p>楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。 楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。</p>	<p>紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。</p>	<p>自己の課題をもって取り組んでいる。</p>
<p>書初めの鑑賞</p>	<p>1</p>	<p>書き初め作品を観賞し、評価基準に沿って自己の作品を評価し、文章化できる。</p>			<p>自己の作品の課題に気づき、適切に自己評価ができている。 達者の作品の良さを文章化して説明できる。</p>
<p>漢字かな交じりの文を書く 和歌の筆写「百人一首」</p>	<p>2</p>	<p>細筆を使用し漢字と仮名の混じった和歌をバランスを考えて書くことができる。</p>	<p>和歌の特徴をとらえ、適切な筆遣いで作品を通ることができる。</p>	<p>効果的な作品の書き方を考え、表現しようとしている。</p>	<p>自らの選んだ和歌を数首、短冊状の用紙に効果的に書くことができる。</p>